

氏名	山田 忍(やまだしのぶ)
職名	准教授
専門分野	がん看護
学歴	関西大学大学院心理学専攻博士後期課程修了
学位	博士(心理学)関西大学
担当科目	(大学院 がん看護専門看護師コース)がん看護学特論、がん看護演習、がん看護学特論Ⅰ、がん看護学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、特別研究、課題研究
研究テーマ	1. クリーンルーム入室患者の適応過程 2. クリーンルーム入室患者の不応感尺度の開発 3. がん告知後の患者が期待する看護 4. クリーンルーム入室患者におけるリハビリの有用性の意識付けの効果 5. 漢方薬が飲めない要因の検討-がん患者とがん患者以外の患者との比較-
所属学会	日本応用心理学会、日本緩和医療学会、日本がん看護学会、日本看護研究学会、日本CNS看護学会
研究業績	<p><論文></p> <p>山田 忍 (2013. 11月)クリーンルーム入室患者不応感尺度(cleanroom non-adaptation scale : CnA-S)開発に向けての検討 応用心理学研究, 39(2), 132-144.</p> <p>山田 忍 (2013.2). がん患者を支える看護師の役割 関西大学大学院心理学研究科心理学叢誌, 9, 61-70..</p> <p>山田 忍 (2012.9). がん看護専門教育とキャリア志向との関係 関西大学大学院心理学研究科心理学叢誌, 8, 79-85.</p> <p>山田 忍 (2012.6). がん告知後適応に至るまでの患者が期待する看護支援 -がん以外の患者との比較検討を行って- 日本死の臨床研究会, 35, 125-130.</p> <p>山田 忍 (2012.3). クリーンルーム・準クリーンルーム入室患者の不応感評価時のイメージ差の特徴 関西大学大学院心理学研究科心理学叢誌, 7, 43-48.</p> <p>山田 忍 (2011.9). 看護師が医療現場で活用できる尺度に関する展望 関西大学大学院心理学研究科心理学叢誌, 6, 69-83.</p> <p>山田 忍 (2011.3). クリーンルーム(準クリーンルーム含む)入室患者の不応感の抽出 関西大学大学院心理学研究科心理学叢誌, 5, 101-107.</p> <p>山田 忍 (2010.9). がん告知後の患者が看護師に期待する看護支援 関西大学大学院心理学研究科心理学叢誌, 4, 115-123.</p> <p>山田 忍 (2010.3). 同種造血幹細胞移植患者におけるクリーンルーム(レベル100)入室時のストレス要因に関する検討 関西大学大学院心理学研究科心理学叢誌, 3, 141-147.</p> <p>山田 忍 (2003.10). 在宅終末期における「ホームヘルパー」の専門性の検討— 介護福祉学, 10, 33-40.</p> <p>[雑誌]</p> <p>山田 忍, 榎本美幸 (2016.10) がん患者さんの訴えを見極め、飲み方を工夫する 漢方医薬学雑誌, 23(4), 28-30.</p> <p>山田 忍 (2014.7). がん看護専門看護師を目指すあなたへ オンコロジーナース, 7(6), 47-51.</p> <p>山田 忍 (2012.3). がんにおける状況別家族ケアの事例集 化学療法を受ける青年期がん患者と家族ケア 臨床看護, 38, 3, 293-297.</p>
メッセージ	<p><活動の紹介></p> <p>がん看護専門看護師、認定心理士として臨床での活動も継続している。臨床での実践能力を教育に活かすことを強みとして、専門看護師コースの学生教育に携わりたいと考えている。</p> <p><学生へのメッセージ></p> <p>臨床において、日々自分の行っているケアに「これでいいのだろうか」と問いかけながら進んできました。「自分らしく生きる」ことを支えるケア、患者さんの「苦悩に寄り添うこと」、答えがないからこそ学び続け、スキルを磨くことが必要とされます。そして、そこに面白さ、楽しさもあると実感しています。この想いを皆さんに伝えたいと思っています。</p>
メールアドレス	yamada-s@wakayama-med.ac.jp